Kobe INK物語

since 2007

色彩豊かな街「神戸」の景色をテーマに開発されたインクです。
このインクで綴った手紙は「神戸からの手紙」として印象に残る書簡となり、
受け取った方とも幸せな気分を分かち合えることでしょう。

No.1 六甲グリーン

神戸といえば思い浮かぶ山と海に恵まれた自然豊かな風景。港町神戸を見降ろす六甲山系の深緑は神戸っ子を癒す色でもあります。その落ち着いた深みのあるグリーンを表現したのが「六甲グリーン」。
書斎で森林浴の気分を感じながら神戸からのメッセージを綴って下さい。

No.2 波止場ブルー

港町神戸の名にふさわしい風景のひとつで空と海のコントラストを贅沢に感じられる場所が神戸メリケン波止場です。広がる青空を映しこむ穏やかな海の色はコクのあるピュアブルー。晴れやかな日の、鮮やかな中に深みのある海の青をお楽しみください

No.3 旧居留地セピア

神戸港の開港と共に外国人の住居や通商の場として造成された居留地は、神戸の歴史に沿って姿を変えながら受け継がれ、今でも大切に使われています。
神戸らしい落ち着いた街並みとノスタルジーさえ感じる風景をセピアカラーで表現しました。

No.4 北野異人館レッド

神戸を象徴する異人館街の中でも風見鶏の尖塔で一躍有名になった「風見鶏の館」。外壁の色鮮やかな煉瓦も特徴的で、北野町の象徴として愛されています。
その煉瓦をイメージした深く心に沁みるようなレッドカラーで国際都市神戸を感じて下さい。

No.5 東亜ブラック

旧居留地の一角にあり神戸らしい店やブティックが並ぶトアロードは、北野と居留地を結ぶ主要道路。
夜になると周辺はキラキラと輝く街灯りと静まったオフィス街という美しいコントラストを描きだします。その夜空をスパイスが効いた幻想的なブラックで表現しました。

No.6 神戸ボルドー

西神戸のなだらかに広がる丘陵地でじっくりと育まれる葡萄は、神戸ワインとして全国に出荷され人気を得ています。
華やかさの中に深みと落ち着きが感じられるエレガントなワインカラーは、神戸からのメッセージにふさわしい1色に仕上がっています。

No.7 海峡ブルー

本州と四国を結ぶ交通の要所として存在する明石海峡大橋。開発エピソードにも数多くの逸話を持つこの大橋が翼を広げる海峡は国内有数の漁場でもあります。
天候により様々な表情を見せてくれる海峡の深海を表現したブルーをお楽しみください。

No.8 有馬アンバー

古くは日本書紀に名が見受けられる古い歴史を持ち、太閤秀吉公が好んだ地として知られる有馬の名湯"金泉湯"の深みある色を表現しました。
心身ともに安らぎ執筆に勤しむ文豪になった気分で机に向かってみられてはいかがでしょうか。

No.9 須磨パープル

万葉の昔から数々の歌に詠まれ、様々な物語の舞台となってきた須磨。海と山が最も近づく神戸らしい風景と共に、「源氏物語」「松風村雨」など平安貴族の隠棲の地としても有名です。 その歴史ある物語の世界を高貴な色とされる深い紫で表現しました。

No.10 御影グレー

六甲山の麓に広がる神戸有数の高級住宅街　御影は、文化財の建築物や灘五郷のひとつ御影郷を有する文化・歴史地区でもあります。
落ち着いた空気が流れる山の手の街並みを、わずかに赤みを帯びた温かみのある大人のグレーで表現しました。

No.11 生田オレンジ

神戸の中心地に位置する生田神社の起源は古く、敷地内に有する"生田の森"は街中のオアシスとして今でも大切に保存されています。
その生田神社を象徴するのが朱塗りの堂々たる鳥居の姿。心を惹きつける印象的な独特の朱をKobeINK物語の一風景として表現しました。

No.12 岡本ピンク

古くから梅の名所として知られていた岡本は今でも多品種を保有する梅林公園があり、国内有数の梅見の名勝として存在しています。
その歴史ある地に個性派ショップが融合した現在の岡本のイメージを大人のピンクで表現しました。

No.13 布引エメラルド

日本三大神滝として平安時代から歌に詠まれた布引の滝。その景観のみならず、開港後は腐らない水として船乗りがこぞって求めた良質の水の地としても有名です。
KobeINK物語では布引の景観と水の素晴らしさを、透明感あるエメラルドグリーンで表現しました。

No.14 摩耶ラピス

神戸の夜景を見渡せるスポットとして人気の摩耶山。その山頂から眺めた街は宝石を散りばめたようにキラキラと輝く神秘的な姿を見せています。
その幻想的な世界を光沢感のあるラピスラズリで表現しました。

No.15 舞子グリーン

西神戸地区にある舞子は明石海峡と淡路の島影が望める風光明媚な土地。
その浜寄りにある舞子公園は、敷地内にある堂々たる老松でも有名です。
この立派な松並木の深みのある色を渋めのグリーンで表しました。

No.16 灘ブラウン

古くから灘五郷と呼ばれ日本一の酒どころとして有名な灘地区。神秘的な宮水を活かした灘の酒造りは、日本の心と伝統を広く世界に発信しています。
その深みある町の色を、新酒の熟成を知らせる杉玉のブラウンで表現しました。

No.17 塩屋ブルー

商館と連結していた北野とは異なり山が海に迫る小さな街　塩屋は、風光明媚な別荘地として外国人に愛された個性的な洋館が数多く建てられました。
高台から臨む景色は瀬戸内絶好のビューポイント。この風景を明るく広がりあるブルーで表現しました。

No.18 三宮パンセ

神戸の中心地　三宮の山と海を一直線に貫くメインストリート「フラワーロード」周辺は、春先になると可憐な花々が一足早く春の訪れを感じさせてくれます。
その中でも特に可憐で印象的な三色すみれよりパンセカラーを選び表現しました。

No.19 湊川ライム

楠木正成公を祀り「楠公さん」の愛称で親しまれる神戸の名社 湊川神社。
神社周辺の白壁や社殿の柱が瑞々しい楠の茂る葉につつみこまれる風情は神秘的で、今なお深い信仰と憩いの場として親しまれています。その楠の穏やかな色を表現しました。

No.20 元町ルージュ

モダンなアーチ「ラ・ルーチェ」が存在感ある名門商店街元町は国際都市神戸にふさわしいハイカラな老舗が多く、その界隈の散策中に垣間見えるポートタワーは、美しい鼓型のフォルムと鮮やかなルージュカラーで神戸を象徴する風景として愛されています。

No.21 太山寺イエロー

神戸市の中でも緑豊かな西区に、霊亀2(716)年に建立されたと伝えられる太山寺があります。
周辺には市街地とは対照的にのどかな田園風景が広がり、収穫時期には豊かに頭を垂れる稲穂が輝く黄金色の景色を見ることができます。

No.22 新開地ゴールド

三宮の西に位置する新開地はかつて「西の浅草」と称され神戸一の繁華街として栄えていた思い出の街。 国際都市KOBEの中でも異彩を放つこの地をもうひとつの神戸として再び愛される街にしようと取り組む人々の熱い思いを、特徴的なゴールドインクで表現しました。

No.23 長田ブルー

神戸の中心部よりやや西に位置する長田は、履き倒れの街といわれる神戸の靴産業を支える地区です。
大震災で受けた甚大な被害から生まれ変わる長田の街の姿を、その象徴である鉄人の力強い色で表現しました。

No.24 中山手ブラック

神戸の中心地区に東西に渡る町　中山手通は、町内に学校や公共施設、寺院、住宅から飲食店などの多彩な顔を持っています。
その中山手通にぴったりなオーセンティックカラーを炭焼きコーヒーのような味わい深いブラックで表現しました。

No.25 垂水アプリコット

須磨・塩屋と同じく山と海が近い垂水の高台からは、明石海峡を隔てて海峡大橋、淡路島まで一望することができます。
風光明媚な土地で見られる夕焼けは色も鮮やかなアプリコットカラーが美しく、ノスタルジーが感じられる贅沢なひと時です。

No.26 和田岬ブルー

神戸の南端に位置する和田岬は各社の工場が立ち並ぶ神戸を代表する重工業地区。JR和田岬線は工場への通勤時間帯のみ運行する珍しい路線です。
第26集は和田岬線を走る103系電車の鮮やかなスカイブルーの車体を取り入れました。

No.27 甲南マルーン

六甲山を背景に東西に延びる緑豊かな甲南地区は代表的な文教地区に相応しい落ち着いた街並みが続きます。
その間を縫うように走る上品なマルーン色の車体は東神戸を象徴する一風景。甲南の穏やかなイメージをそのマルーン色で表現しました。

No.28 鈴蘭グリーン

古くは神戸の避暑地として「関西の軽井沢」と称されていた鈴蘭台地区は、ゆったりと潤いのある生活を楽しめる理想的な住宅地。
「幸運の訪れ」の花言葉を持ち避暑地に似合う花「すずらん」から命名されました。この花の美しい葉のグリーンを表現しました。

No.29 須磨海浜ブルー

日の出の絶景ポイントとして最もお薦めの須磨海岸は「山・街・海」が一望できる鉢伏山を背景に持ち、その山頂からの美しい風景は黎明で人々の心を力強く前向きにします。
夜から朝に代わるトワイライトの須磨海岸の空の色を、相応しい青で表現しました。

No.30 王子チェリー

神戸市民の憩いの場　王子公園は中心地三宮のすぐ近くに位置し、動物園を始めとする本格的なアーバンパークとして親しまれています。
園内には華やかに咲き誇り心を和ませてくれる美しい桜並木があり、毎年春の訪れを知らせる名勝地としても人気の地です。

No.31 海岸ストーングレー

海岸通りは港町神戸の面影を今なお残す貴重なエリア。三井商船ビルをはじめとする洗練された重厚な石造りの建築が並び立ち、当時の景観を留めています。
その建物の素晴らしさを温かみのあるグレーで表しました。

No.32 多聞パープルグレー

湊川神社の祭神　楠木正成の幼名「多聞丸」からその名を冠したといわれる多聞通りは、昭和初期には神戸随一の歓楽街であり町一番の劇場　多聞座が存在しました。
その劇場の高座で使用した座布団の色である渋い紫をインクで復刻、表現しています。

No.33 離宮ムーンイエロー

皇室の別荘としての面影を残す須磨離宮公園は、四季折々の花園と緑が豊かな神戸っ子自慢のオアシスです。
偲べば遠く、平安の昔に在原業平が眺めた月見の名所としても知られるこの地から見る月明かりは、風情豊かな趣が感じられます。

No.34 相楽園ティーグリーン

神中国の古書"易経"の一節「和悦相楽」から名付けられた相楽園は北野の西端に位置し、魅力的な池泉回遊式日本庭園で深山幽谷の風景をいつでも見ることができる貴重な場所。
庭園の景観と調和した茶室でいただく抹茶の心洗われる色を表現しました。

No.35 諏訪山リーフグリーン

神戸山手にある諏訪山公園は六甲山系の高台と自然林を利用した都市公園で市街にほど近く、市街地を見降ろせるビーナスブリッジはビュースポットとして市民の憩いの場となっています。
その生き生きとした自然の力強さをリーフグリーンで表現しました。

No.36 栄町インディゴ

神戸元町地区は古くからお酒落な専門店が似合う街。そんな歴史を背景に持つ栄町通りに個性派が集う新しい神戸文化の発信地が誕生しています。この新生地に似合うカラーは無国籍ともいえるインディゴブルー。
さり気ないファッションセンスを演出する色で栄町を表現しました。

No.37 港島アイランドブルー

人工島として誕生したポートアイランドの最南端にある神戸空港周辺の海は、晴天の日には青空と太陽光を反射して見事な美しい輝きを見せてくれます。
神戸上空より臨む際立った深い海の青をお楽しみください。

No.38 北野坂ナイトブルー

三宮から異国情緒溢れる北野町へと程良い勾配の坂道が続く北野坂界隈は、神戸らしい街並みが魅力的です。
このエリアの夜空がショップの灯りに照らし出される幻想的な雰囲気は神戸ならでは。微妙に変化する美しい夜空を大人のナイトブルーで表現しました。

No.39 神戸レンガ

神戸煉瓦倉庫は神戸港の貨物倉庫として1898年建設されました。 港の発展を支えた建築物として、100年を超えた今なお赤レンガ造りの美しい姿を水面に映し出しています。
歴史ある煉瓦倉庫への出店を記念して赤レンガの色を表しました。

No.40 住吉ブラウン

神戸住吉地区は自然の宝庫　六甲山系と都会の清流　住吉川に抱かれた魅力的な街。 文豪　谷崎潤一郎の旧居「倚松庵」があることでも有名です。
その文豪に因み日本の伝統色「文人茶」でこの街を表現しました。

No.41 須磨離宮ローズ

六甲山系の西端に位置し瀬戸内海を臨み四季折々の花が楽しめる須磨離宮公園には、神戸有数規模のバラ園があり見事な競演を愛でることができます。
5月中旬から楽しめるバラ園の多様なバラの中から、優雅で印象的なローズピンクを取り上げ再現しました。

No.42 六甲アイランドスカイ

港海上文化都市　六甲アイランドには、"神戸らしいセンスが溢れるライフスタイルの発信"をコンセプトに掲げる「神戸ファッションマート」が存在します。神戸らしい彩りを提案し続ける海上都市にふさわしい、透明感ある爽やかな青空をイメージしたスカイブルーをお届けします。

No.43 学園都市フレッシュグリーン

中心地から地下鉄で約30分の学園都市地区は、その名の通り神戸の未来をになう多くの若人が集うキャンパスエリア。周辺は自然に恵まれた閑静な住宅街でもあります。
そんな街の風景とフレッシュな人々を、生き生きとしたイエローグリーンで表現しました。

No.44 須磨浦シーサイドブルー

日本史の中でも古戦場として有名な須磨一の谷周辺は、季節や時間で多彩な変化を見せる深みのある青緑の海が印象的です。
その魅力ある色の中より、平家物語を偲ばせる波打ち際から沖合に移る海の深い青を表現しました。

No.45 鉢伏シルエットグリーン

六甲山系の西南端に位置する鉢伏山は須磨浦公園内にあり、子供でも登れる山として市民には馴染み深い山です。また山上遊園地から見られる季節ごとの表情は多彩で美しく、今回はこの中から深みがある上品なダークグリーンを再現しました。

No.46 渚ミュージアムグレー

震災からの文化復興を象徴するミュージアムロードは、2010年兵庫県立美術館から王子公園を結ぶ南北の道の愛称として命名されました。その地区を代表する安藤忠雄氏設計の県立美術館をイメージした青味の強いグレーでこの地区を表現しました。

No.47 青谷カスケードグリーン

神戸の文教地区青谷は摩耶山の麓に佇む閑静な街です。このエリアは六甲山系の自然と渓谷からの豊かな天然水が流れ込む神戸のオアシスともいえる場所。
この青谷の景色を小滝を意味するカスケードと自然をイメージするグリーンを混ぜた独自の色で表現しました。

No.48 水道筋マルシェブルー

600軒近い個性的なショップが軒を連ね昭和の香りが今なお残る神戸随一の商店街 水道筋周辺には、気軽に楽しめる行楽地もたくさんあります。
その個性あふれる地区には六甲の豊かな緑と瀬戸内海の輝く青を程良くブレンドした元気なブルーが似合います。

No.49 北野オリーブグリーン

明治時代に北野山本通周辺に存在していたオリーブ園。街の急速な発展で人々の記憶から消えようとしていましたが、近年の緑化で再注目され、果実も利用できることから見直されています。
新たに生まれる北野オリーブの魅力的なグリーンを表現しました。

No.50 京町レジェンドブルー

神戸らしい景観を誇る旧居留地内でも神戸市立博物館が存在する京町エリアは、世界の芸術・文化と共に神戸の歴史も感じられる貴重な地区です。
この街角にふさわしく伝説となるよう願いを込めて、どこまでも美しい青に仕上げました。

No.51 加納町ミッドナイト

神戸のメインストリート フラワーロードに存在する加納町界隈は神戸の山と海をつなぐ場所でもあります。
この活気ある場所が眠りに着く深夜、歩道橋から見上げた夜空の吸いこまれそうな深いブルーをお洒落なミッドナイトカラーで表現しました。

No.52 塩屋ヴィンテージセピア

山が海に迫る塩屋は、風光明媚な地区として外国人に愛され、昭和初期には多くの洋館が存在しました。今なお現存する異人館ではヴィンテージ家具が大切に使われています。
そのような歴史ある家具の光沢を帯びたセピアカラーを忠実に再現しました。

No.53 北野パールシルバー

神戸北野町は知る人ぞ知る真珠の街。六甲山に反射した優しい光が繊細な真珠の選別作業に適しており、神戸港という国際貿易港が日本真珠の輸出産業を支えてきました。
その歴史ある産業を黒真珠の上品な光沢を青味がかったシルバーで表現しました。

No.54 五色山オークル

神戸の西地区にある前方後円墳「五色塚古墳」は古代に触れられる神戸の貴重な財産として大切にされ、温かいオークル色の出土品が不思議な魅力を醸し出しています。
遠い歴史と人々の想いが感じられる穏やかな色彩をお楽しみください。

No.55 南京町フォーチュンレッド

世界の文化が共存する街、神戸の中でも魅力あるスポットのひとつ「神戸南京町」。
その春節祭の緑起物に使われている吉祥の赤は、鮮やかさと深みを兼ね備えた魅力ある色です。「幸運」「繁栄」の名にふさわしい赤を表現しました。

No.56 六甲シチダンカ

神戸の自然を満喫できる六甲森林植物園で見られるシチダンカは、六甲山で発見されるまで100年近く存在が確認されなかった貴重な紫陽花。星状の花弁と柔らかな色合いが特徴です。
六甲に育まれた貴重な花の色をゆっくりとお楽しみ下さい。

No.57 神戸ヒメアジサイ

神戸市の花　紫陽花の多種多様な色彩の競演は、毎年我々の目を楽しませてくれる自然からの贈り物です。
その溢れるグラデーションの中から56集に続きややピンク寄りの紫陽花色を表現、神戸の初夏を彩るにふさわしいカラーをご用意しました。

No.58 兵庫キャナルブルー

神戸港の前身である兵庫運河には、瀬戸内海に繋がる重要な水路に架けられた橋が姿を変え各所に存在しています。
その中のひとつ1924年に完成した美しいアーチ姿の石造「大輪田橋」から眺めた、青空が水面に映る魅力的なブルーを表現しました。

No.59 平野祇園ロマンスグレー

大倉山公園の北に位置する平野祇園神社は神戸の街を一望できる祇園山中腹に鎮座し、平清盛が大輪田泊の構想を練る時にも眺めていた光景とも伝えられています。
神戸の深い歴史を思いながら語り継がれてきた景色を、味わいのあるロマンスグレーで表現しました。

No.60 神戸異人館ミント

港町としての歴史を持つ神戸には、北野町だけでなく市内各地に異人館が点在し、豊かな自然と共に、美しい神戸を作り上げる景色のひとつとして大切に守られています。
その異人館をイメージした、印象的で爽やかなミントグリーンを表現しました。

No.61 雪御所ザクラ

美しい響きの「雪御所町（ゆきのごしょちょう）」は、平清盛公の別邸　雪御所があった歴史ある地で、その跡地周辺の川沿いに咲き誇る桜並木は、感動を覚えるほどの躍動感に満ちています。雷から徐々に開く桜のように、濃淡が文字に美しい表情を紡ぎだす桜色を表現しました。

No.62 布引ラベンダー

初夏に見頃を迎えるラベンダーの心地よい香りが漂う布引ハーブ園での贅沢なひと時を想像しながら万年筆ライフをお楽しみいただけるラベンダー色をKobe INK物語に加えました。この色で綴る手紙は爽やかな香りと風を運んでくれます。

No.63 東遊園地トーチオレンジ

市街中心地にある東遊園地は国内初の西洋式公園で、現在は震災復興と慰霊の想いを込めたモニュメントが置かれた市民憩いの地となっています。
この「トーチオレンジ」は神戸の美しい自然を背景にともる「希望の灯り」の暖かみのあるオレンジを表現しました。

No.64 住吉山手ジェイドグリーン

世界的価値のある美術品が多数収蔵された白鶴美術館は、建物自体が昭和の名建築とされ翡翠色の屋根と入口の鉄扉が印象的です。
この「ジェイドグリーン」は味わい深い繊細な緑をインク色で表現しました。

No.65 新港ジェットブラック

各国の客船が入港する新港第4突堤は国際港の名にふさわしい多様な設備を整えた大型ターミナル。
その港のイメージを代表的な豪華客船の塗装に使われている漆黒で表現しました。

No.66 西神コバルトスカイ

神戸のベッドタウン、西神(せいしん)近くの押部谷にある「神戸ワイナリー農業公園」は神戸ワイン用の葡萄の栽培地です。その葡萄園上空の太陽光溢れる澄み切った青空を表現しました。

No.67 淡河ファームグリーン

六甲山の北側にある淡河(おうご)は、四季折々の自然に囲まれた広大な農作物の宝庫エリアとして、神戸の食文化を支えています。
自然に育まれた農作物の輝くようなグリーンをKobe INK物語に加えました。

No.68 西舞子パールブルー

神戸の風光明媚な地区にある西舞子からは、大きく羽根を広げたような姿の明石海峡大橋が望めます。「パールブリッジ」の愛称で親しまれ、神戸と淡路島を結ぶ世界最長の雄大な吊り橋のイメージを、グレーを帯びたブルーで表現しました。

No.69 菊水ビオトープ

兵庫区にある菊水公園は一角がビオトープとして整備され、地域の憩いの場やホタルの飼育場として地域住民に愛されています。
この自然生態系が感じられる貴重なエリアで育まれる植物がせせらぎに映る色を渋みのあるイエローグリーンで表現しました。

No.70 六甲フォレストブルー

神戸森林植物園には、美しい水面の長谷池が静かに六甲の四季を映しており、梅雨から初夏にかけて睡蓮の花が見ごろとなる季節には、森の優しい光と青空に反射した水面が、まるでモネの名画のように感じられます。
その光景を包むような優しく深みあるブルーで表現しました。

No.71 生田川サクラ

神戸の玄関口、新神戸駅南エリアにある桜の名所「生田川公園」は、上流に布引の滝などの名勝を抱く生田川沿いにあり、その沿道の桜は「ぬのびき花街道」と呼ばれ愛されています。
春の訪れを市民に告げる爽やかな風とほんのり優しいサクラ色が描く神戸の街の魅力を感じてください。

No.72 千苅ウォーターブルー

神戸市の北限「道場町」には大正8年竣工の市内最大の千苅貯水池と千苅ダムが存在します。
美しい自然の中で清らかな神戸ウォーターを育むこのダムが放流時に描く水の芸術は、「糸の宝石」ボビンレースを彷彿とさせる細やかで壮大な作品です。その良質な水を繊細な水色で表現しました。

No.73 兵庫津ヒストリーブルー

平安時代から近年まで海上交通の要衝として繁栄した兵庫津は、今なお古今多数の遺構が存在し、北前船寄港地として日本遺産にも登録されています。また県名「兵庫」の名は初代県庁所在地でもある兵庫津の名から採られたとも言われています。
神戸の歴史を紐解く始まりの地にふさわしい兵庫津の奥深い青を表現しました。

No.74 名谷コスモスレッド

ユニバー記念競技場に広がる「コスモスの丘」は、遠くに明石海峡大橋も望める市民の憩いの場です。中でも、初秋コスモスが丘一面に描く鮮やかな色彩と風に揺られる光景は、時間を忘れて見入ってしまうほどです。 そのコスモス群の中から、最も印象的な深紅の大輪「センセーション」の色彩を表現しました。